

【令和元年8月23日実施】

ジェネリック医薬品を普及させることは、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものとして重要です。

大阪府におけるジェネリック医薬品の数量シェアは年々増加しているものの、全国40位程度と、全国平均を下回っている状況であり、これまで以上に取組みの工夫が必要となっています。

そこで、ジェネリック医薬品の普及が進まないと思われる理由を次の①②それぞれの立場で考え、その解決のため、次の①②それぞれに対する、大阪府の効果的な取組みについて、グループとしての意見をまとめてください。

- ①処方医／薬局薬剤師
- ②患者